



ディリーなぎさ Vol.29  
編集:ディリーなぎさ編集部  
発行:なぎさの伝習所実行委員会

# 7月28日号

## ニワトリやヤギに大はしゃぎする子供たち

### 田舎暮らしをしてみる

午前中、『田舎暮らしをしてみる』が行われている江迎町、白岳高原の『味菜自然村』へおじゃましました。味菜自然村は、山に囲まれているとてもどかな所で、元気なニワトリの音が響いているところです。車がつくとはじめに、二匹の番犬(?) 白くて小柄なタロウとゴールドンレトリバーのガック

ンが私たちを迎えてくれました。小屋に入ってみると、林さんと子供たちが楽しく活動していました。子供たちについてみると、ニワトリ小屋がありました。ニワトリ小屋のふたを開けてみると、そこには、卵を温めているニワトリがいました。子供たちは、おそれることなく、ニワトリのお腹の下に手を入れて卵を取っていました。卵をさわってみると、とても温かかったです。高柳文香ちゃんに何が一番楽しいかと聞いてみたところ、「ニワトリのエサ炊きや、火をおこすこと」と答えてくれました。守永寛くんは、「卵取りなどのニワトリの世話が、楽しい」と言っていました。

### 焼きものをつくる

## かわいい陶芸家たち 独特のたたずまいの中で

『焼きものをつくる』のワークショップ取材しに、陶芸の家をお邪魔しました。

「こんにちは」と明るい挨拶で迎えてくれて、楽しそうな雰囲気の中、一生懸命頑張っていました。

そのうちの一人、大阪から来てくれた四年生の山中千夏ちゃんにインタビューしました。

『なぎさ』はお母さんの妹さんが教えてくれて参加したこと。『焼きもの』WSを選んだ理由は、雨の日でもできるから、と答えてくれました。

鹿町の第一印象は、「いっぱい海とか木とかあるからめずらしい」んだそうです。(へえ、めずらしいのか...)

千夏ちゃんが造っているのは、象の貯金箱『夏休みの作品』として学校に提出するそうです。

(あかね)



掃除が終わると、みんなでヤギの小屋に行きました。そこには、ヤギとニワトリと一緒に飼われていました。林さんがかごいっぱいになじんの葉を

持ってくるので、ヤギたちはドアの所に集まってきました。子供たちと一緒に中に入ってみると、ヤギたちは、エサを食べ始めました。子供たちの手からもたくさん食べていたようです。子供たちは、ヤギやニワトリを抱いて、とてもはしゃいでいました。

(ゆみこ、まなみ)

## 今日は冷しソーメン、はつきり言って楽しそう

### リトルシェフになる

『リトルシェフになる』のワークショップにお邪魔しました。町内から十一名、町外から三名の計十四名の参加で、はつきり言って楽しそうでした。

私たちは、和菓子付き抹茶の歓迎を受けました。(ありがとうございました!)

いくつかグループに分かれていて、そうめんをゆでたりしていました。中にはエビをゆでているところも。(何を



その中で平戸市から来た中学一年の松永春香ちゃんと末永有貴ちゃんを取材してみました。どうして『なぎさ』に入ったの?と聞くと春香ちゃんは、お

父さんがパンフレットを持ってきたから」と言い、有貴ちゃんにたずねると「春香に無理矢理...」だそうです。(ウ



